

ユニセフハンドインハンド募金

ご協力をお願いします

ハンド・イン・ハンドとは、政治、宗教などに関係なく、「手に手をとって」世界の子どもたちのしあわせと明るい未来を実現させるために、ユニセフの保健、水と衛生、栄養、教育、緊急援助等の事業への支援を通し、「子どもの権利条約」がすべての子どもに守られるよう、一人一人がボランティアとして参加するユニセフ募金活動です。



①〈2024ハンド・イン・ハンド募金〉

街頭募金:12月14日(土)JR水戸駅13:00~15:00

②オンラインでも募金ができます。

右記QR(URLも可)を読み込みホームページを開き、**寄付する**をクリックすると募金をする画面に移ります。



<https://tinyurl.com/kxnkuz2v>

茨城県ユニセフ協会2024ユニセフハンドインハンド募金

※ご不明な点は茨城県ユニセフ協会にお問い合わせください。

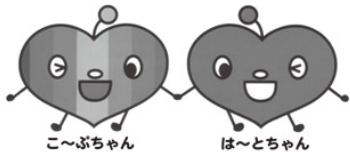
TEL:029-224-3020 Email:ozawa@ibaraki-kennrenn.coop

～ いばらきコープくらしの助け合いの会主催 全体学習会 ～

支え合う地域づくりを考える

講師

茨城県社会福祉協議会
参事兼福祉のまちづくり推進部長
中村 英一氏



高齢者1人を現役世代1人で支える「肩車社会」を迎えつつある日本。住み慣れた地域で最期まで安心して暮らしていくために必要なことは何か？
どうしたら支え合う地域をつくれるか？一緒に考えましょう！

日時:2024年12月4日(水)10:00~12:00(受付開始9:30~)

会場:コープ水戸店 コミュニティルーム(水戸市元吉田町1048-1)

参加費:無料/募集人数30名

(応募多数の場合は抽選とさせていただきます)

申込方法:お電話またはQR(URLも可)にてお申し込みください。

申込締切:11月22日(金)

お問い合わせ・お申し込み <https://tinyurl.com/2yu2wmak>

くらしの助け合いの会事務局
(月~金 9:00~17:30)



0120-551-525



ご協力頂ける20~40代の方ぜひご応募ください!!

「家計・くらしの調査」モニター募集

募集期間 2024年10月1日~11月30日

対象者 20~40代の組合員の方

調査期間 2025年1月~12月

募集方法 右記QRまたは下記URLよりご登録
URL:<http://step.jccu.coop/kakekura>

その他 応募多数の場合は、抽選となります。12月中に結果をご連絡いたします。

●毎月の家計をご提出いただき、くらしに関わる調査を行います。提出頂いたデータは、生協が消費者の立場からくらしに関わる問題を把握したり、社会的発信を行うための根拠などに活用します。

●期間は1月から12月の1年間です。1カ月分の家計を翌月に提出いただくため、2025年2月~2026年1月が実施期間になります。

●スマートフォン・PCから回答ができます。毎月1日、ご登録いただいたメールアドレス宛に、入力用の調査票を送ります。

●12カ月提出いただいた方に、「1,000円」の図書カードをお送りします。同時に実施する「消費税しらべ」(任意)にも12カ月ご協力頂いた方には、プラス「500円」の図書カードをお送りします。

図書カード
プレゼント

お問合せ

日本生活協同組合連合会 政策企画室
MAIL:seisaku@jccu.coop



申込用QR ↓



2025ピースアクションinオキナワへ子どもたちを派遣します



日時:2025年3月26日(水)~3月28日(金)

参加対象:いばらきコープの組合員とそのお子さん(小学5年生~大学生)

募集定員:2家族6名まで

費用等:小学生 1万5,000円/1人

中学生以上・家族 2万円/1人

※但し、東京駅までの交通費、現地での交通費と食事代は各自負担です。

参加条件:お子さんには事前説明会の参加と事後の報告会での発表をしていただきます。

※説明会で内容をご理解いただいてから正式な申し込みとなります。

※申込多数の場合は、選考させていただく場合もございます。あらかじめご了承ください。

申込方法:お電話または右記QR(URLも可)より
お申し込みください。



<https://tinyurl.com/3bn3eed4>

お問い合わせ



いばらきコープ総合企画室
(月~金 9:00~17:30)

0120-160-231

主催:日本生活協同組合連合会

SDGsとコープ

その14...ゴール15 陸の豊かさを守ろう

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

15 陸の豊かさも
守ろう



《陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する》

◎コープサステナブルシリーズ

MSC認証やレインフォレスト・アライアンス認証、有機JAS認証、エコマークなど、環境や社会に配慮した主原料を使った商品に、共通のロゴマークを付けてシリーズ化しました。



◎お米育ち豚プロジェクト

日本の食と農業、そして畜産を元気にしたい。そんな想いのもと、お米の生産者と協力し、休耕田で豚のエサ用のお米、飼料用米をつくり、豚にそれを食べてもらうことでお米の消費量を増やしたいと考えました。豚の生産者さんにも協力をお願いし、日本のお米づくりをささえ、田んぼを守る、おいしい豚肉を組合員にお届けしています。



◎佐渡トキ応援お米プロジェクト

佐渡ではトキを守るため、田んぼの生きものを絶やさぬように、魚道・江・ビオトープなどの設備をつくったり、冬の間も田んぼに水をはったりしています。生きものがくらすことができる環境を維持するための費用もかかります。佐渡米を食べて応援したい。そんな想いのもと、佐渡トキ応援お米プロジェクトを2010年からスタートしました。CO・OP産直新潟佐渡コシヒカリ、その加工品の売り上げの一部を「佐渡市トキ環境整備基金」に寄付しています。



佐渡トキ応援
お米プロジェクト